

## 地域で守る水循環

山添村立山添中学校 三年

岡田 朋浩

私たちは水をどのようにとらえているのだろうか。

水にはいろいろな特長がある。例えば、人間や動物を生かしてくれたり、植物に潤いを与えてくれたり、水力発電のように水を使うことで環境にやさしく電気を作れたりする。だが、水の最大の特長は何度でも繰り返し使用できる、という所だと私は思う。今、私達の身近にある水は地球全体で起きている水の循環によるものだ。

水の循環を海から始めると、海で蒸発した水は雲になり地上に雨や雪を降らせる。その大部分はまた海へ落ちるが、陸上に落ちたものは地表水となり、湖や川に流れる。この水の循環の途中の段階で私たちは水を私生活で使用している。そしてその水はまた海へと流

れていく。

これらのことから二つのことが分かる。まず一つ目は、水は地球全体でサイクルしているということだ。サイクルとは物が一定の周期で繰り返し返すことで、水も同様に一定の周期で地球を循環していると言える。

二つ目は、水の循環の過程と地域は深く関わっているということだ。水の循環の過程で川を地表水が流れてくる途中の段階で私達は浄水場や農業用水として水田や畑に水を引いてきている。そして浄水場で浄化された水は各家庭、工場などに送られる。各家庭では風呂、炊事、トイレなどで使われ、工場では工業用水として水が使用される。これらの多様な目的で使用された水は下水処理場に送られ処理されて川へ行き、海へ戻っていく。つま

り地域は水の循環がなければならぬ。水の循環がなければ生きていけない、それはどこの地域でも同じことだろう。だからこそ私たちは水を守っていかねければならぬ。

では具体的に何をすればよいのだろうか。まずは、節水を心がけるとのことだ。水の使用量を減らすことにより下水処理場で処理する量が減り、結果的に水を守ることにつながるからだ。

また、節水よりも大切なのは地域で水を守る、ということだ。私の父は村で「水当番」という役割をしている。これは交代で浄水場や下水道の管理をする仕事だ。父が長時間出かけて遅い時間に帰ってくるのを見ると、とても大変な仕事なのだと思う。父も一生懸命地域の水を守っているのだと分かった。私は今まで「水当番」という仕事があることも知らなかった。だからこのことを知り、地域の人たちは皆で協力して水を守っていることに気づいた。

私たちの周りには水があふれている。しかしそれは新しく湧いて出た水ではなく、水の

循環と地域の人の多くの努力があつての物だ  
と思う。

水は繰り返し使える。地球上にある水の中で海水は約九十七・五パーセント、淡水は約二・五パーセントしかない。しかし私たちが努力し、節水を心がけてこれからも水の循環を守っていくことにより、たった二・五パーセントしかない淡水でも繰り返し使うことができるようになる。そして未来の人たちにきれいで安心な地球の水を引きつぐことができる。

皆で地球の水を守っていこう。未来の人たちが安心して水と共に暮らせるように。